

9. 福祉と医療

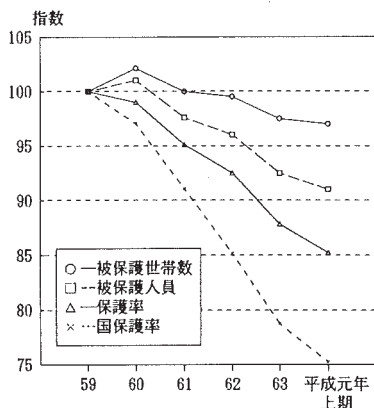
〔生活保護〕

奈良県の生活保護動向としては、毎年微増傾向でしたが、昭和61年度から減少傾向に転じ、平成元年11月現在の被保護世帯は8,332世帯（対前年同月比0.4%減）、人員14,778人（同2.8%減）、保護率10.76%（同0.46%減）となっています。

これらの要因としては、制度的要因では年金制度の改正、行政的要因では保護申請段階における調査の徹底や指導の効果によると思われます。

関連指標

被保護世帯・人員・保護率の推移



資料：社会福祉課

85. 民生費

都道府県	人口1人当たり民生費 (千円)	順位
高知県	105.24	1
徳島県	83.48	2
長門県	79.66	3
青森県	71.54	4
	70.48	5
鳥取県	70.43	6
沖縄県	68.73	7
宮城県	66.53	8
熊本市	66.10	9
	65.69	10
鹿児島県	64.30	11
大分県	64.02	12
愛媛県	63.87	13
奈良県	63.38	14
	60.78	15
山形県	60.07	16
北海道	59.26	17
岩手県	59.14	18
佐賀県	58.67	19
	58.03	20
岡山県	57.06	21
石川県	56.29	22
福井県	54.86	23
長崎県	54.07	24
	53.16	25
富山県	52.82	26
新潟県	50.18	27
山梨県	47.11	28
新潟県	46.70	29
	46.32	30
群馬県	45.94	31
山形県	44.66	32
大宮市	44.46	33
	43.65	34
	41.25	35
広島県	41.06	36
福岡県	40.66	37
岐阜県	40.50	38
	40.20	39
	40.01	39
茨城県	39.67	40
千葉県	37.80	41
静岡県	36.67	42
	35.08	43
	34.27	44
愛知県	33.22	45
京都府	31.10	46
神奈川県	21.23	47

資料：自治省財政局「地方財政統計年報」
 調査時点：昭和62年度
 調査周期：毎年
 算出方法：民生費÷総人口
 (注) 県、市町村財政の合計

86. 生活保護者数

都道府県	人口千人当たり 被保護実人(人)	順位
北海道	30.9	1
	21.5	2
	19.2	3
	17.5	4
	16.3	5
徳島県	16.0	6
	15.5	7
	14.2	8
	14.2	8
	12.4	10
大分県	11.1	11
	11.1	11
	10.5	13
	10.3	14
	10.2	15
愛媛県	10.1	16
	10.0	17
	9.5	18
	9.4	18
	9.4	19
岡山県	9.2	20
	9.1	21
	8.9	22
	8.6	23
	8.3	24
香川県	8.3	24
	7.4	26
	6.7	27
	6.5	28
	6.4	29
滋賀県	6.1	30
	5.2	31
	4.9	32
	4.8	33
	4.6	34
栃木県	4.2	35
	4.2	35
	4.1	37
	4.0	38
	4.0	38
群馬県	3.7	40
	3.2	41
	3.0	42
	2.9	43
	2.7	44
岐阜県	2.7	44
	2.6	46
	2.5	47

資料：厚生省大臣官房統計情報部
「社会福祉行政業務報告」
調査時点：昭和63年度
調査周期：毎年
算出方法：(各月の実人員累計+12)÷総人口

87. 児童福祉施設数

都道府県	人口10万人 当たり児童福祉 施設数	順位
宮城県	69.39	1
	52.69	2
	50.65	3
	49.14	4
	47.57	5
鳥取県	47.49	6
	43.48	7
	43.38	8
	42.11	9
	42.07	10
熊本県	39.49	11
	39.17	12
	37.05	13
	36.29	14
	36.12	15
山梨県	36.10	16
	35.95	17
	33.65	18
	32.35	19
	32.28	20
宮城県	31.73	21
	31.68	22
	31.62	23
	31.58	24
	30.70	25
滋賀県	30.36	26
	29.97	27
	29.25	28
	28.46	29
	28.39	30
香川県	27.97	31
	27.18	32
	26.04	32
	25.04	33
	24.16	34
静岡県	23.39	35
	22.20	36
	22.08	37
	20.88	38
	20.82	39
北海道	20.42	40
	20.04	41
	19.21	42
	14.99	43
	14.79	44
京都府	12.07	45
	10.76	46
	5.94	47

資料：厚生省大臣官房統計情報部
「社会福祉施設調査報告」
調査時点：昭和62年10月1日
調査周期：毎年
算出方法：児童福祉施設数÷総人口
(注) ここで言う児童福祉施設とは、児童福祉法に基づき設置されるものである

〔医療関係者〕

近年、高齢化が進むなかで総合的な高齢化対策の推進と人生80年時代に対応した新しい社会システムの構築が求められています。このような中、保健医療を取りまく環境は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの成人病を中心とした慢性疾患の増加による疾病構造の変化、さらに多様化する医療需要に対応する医療の専門・高度化と大きな変化がみられます。こうした状況の下では、医師や看護婦など医療関係者の確保は急務となります。

関連指標

医療関係者の推移

年次	医師	歯科医師	薬剤士	保健婦	看護婦・士 (看護士・士含む)
	昭和55年	1,401	443	1,155	142
56	1,404	481	1,163	156	4,091
57	1,503	486	1,231	157	4,225
59	1,722	573	1,257	172	4,875
61	1,781	585	1,278	191	5,410
63	1,977	643	1,430	226	5,920

資料：県医務課

88. 医師数

都道府県	人口10万人 当たり医師数 (人)	順位
東徳	224.3	1
京島	221.6	2
都取	218.4	3
島川	215.5	4
石	214.3	5
高福	207.3	6
岡	206.6	7
山	201.1	8
崎	197.6	9
本	193.5	10
香大	191.3	11
島	188.2	12
広	183.7	13
和	181.3	14
歌	180.7	15
佐山	179.6	16
愛	178.0	17
大	176.5	18
富	172.5	19
	171.2	20
鹿兵	169.8	21
全	166.4	22
宮	164.2	
北	161.9	23
海	154.8	24
福群	154.4	25
宮	153.5	26
岩	150.9	27
名	149.3	28
栃	148.7	29
滋愛	148.7	29
三	147.4	31
奈	147.2	32
福	146.2	33
	144.4	34
山	143.9	35
神	142.7	36
奈	141.7	37
長	141.4	38
山	140.9	39
新		
青	140.5	40
秋	139.1	41
沖	137.3	42
静	135.6	43
岐	131.8	44
茨	113.9	45
千	109.2	46
埼	97.3	47

資料：厚生省大臣官房統計情報部
「医師・歯科医師・薬剤士調査」
調査時点：昭和63年12月31日
調査周期：2年毎
算出方法：医師数（総数）÷総人口

89. 歯科医師数

都道府県	人口10万人当たり 医師数	10万人 人口 (人)	順位
東福徳岡新	98.9		1
	69.7		2
	64.2		3
	64.1		4
	62.9		5
大長神全若	62.4		6
奈	59.2		7
	58.3		8
	57.5		9
	57.3		9
和歌	57.1		10
広岐千長	57.0		11
	56.7		12
	56.6		13
	56.6		13
愛山北宮真	56.2		15
海	56.1		16
	55.7		17
	55.3		18
	51.2		19
大京佐山栃	51.2		19
	51.0		21
	51.0		21
	50.3		23
	50.2		24
静鹿福愛香	49.6		25
児	48.7		26
	48.4		27
	47.9		28
	47.8		29
奈三島埴高	47.6		30
	46.9		31
	45.3		32
	44.8		33
	44.8		33
宮茨熊石群	44.3		35
	44.0		36
	43.4		37
	43.1		38
	42.8		39
富島沖山秋	42.6		40
	41.8		41
	40.5		42
	39.5		43
	38.7		44
青福滋	37.7		45
	36.1		46
	35.6		47

資料：厚生省大臣官房統計情報部
「医師・歯科医師・薬剤士調査」
調査時点：昭和63年12月31日
調査周期：2年毎
算出方法：歯科医師数（総数）÷総人口

90. 看護婦数

都道府県	人口10万人 当たり 看護婦数 (人)	10万人 人口 (人)	順位
高熊徳佐宮	958.3		1
	897.4		2
	871.3		3
	819.9		4
	818.8		5
長香鹿愛福	809.9		6
児	808.1		7
	802.3		8
	792.7		9
	789.2		10
島山大島岡	783.7		11
	770.7		12
	753.3		13
	746.1		14
	741.7		15
岩石北富福	735.4		16
海	725.6		17
	706.6		18
	701.8		19
	670.3		20
広青福秋京	669.4		21
	664.0		22
	659.6		23
	627.5		24
	621.2		25
冲和山新宮	595.3		26
歌	583.9		27
	578.4		28
	577.2		29
	577.0		30
全大長三兵	566.0		31
	533.3		32
	530.9		33
	525.8		33
	521.8		34
群山愛東栃	521.1		35
	513.9		36
	482.2		37
	481.7		38
	479.8		39
滋岐奈静茨	451.1		40
	443.3		41
	437.2		42
	434.3		43
	414.3		44
神千埴	391.4		45
奈	365.9		46
	339.2		47

資料：厚生省大臣官房統計情報部
「衛生行政業務報告」
調査時点：昭和63年12月31日
調査周期：2年毎
算出方法：〔看護婦(士)数+准看護婦(士)数〕
÷総人口
(注) 看護業務に現に従事している者の数

〔献 血〕

県内で必要な輸血用血液は、おおむね県内の献血で確保できる状況ですが、医療技術の進歩に伴い需要が急増している血漿分画剤については、そのほとんどを外国に依存しています。その自給対策のため61年度から従来の200ml献血に加えて400ml献血及び成分献血を実施しました。62年度は、エイズ問題などにより5,000人程減少しましたが、63年度には県民の理解と協力により再び約5,000人増の93,286人となりました。

関 連 指 標

献 血 状 況

年度	献 血		献 血 者 数			血漿製剤
	総参加者数	総 数	200ml献血	400ml献血	成分献血	供給数
59	88,580	80,005	80,005	—	—	133,582
60	92,216	83,105	83,105	—	—	151,715
61	93,611	83,592	75,710	7,783	99	136,227
62	88,523	78,582	69,724	7,787	1,061	136,482
63	93,266	82,930	71,633	8,350	1,947	144,570

資料：県事務課

91. 乳児死亡率

都道府県	出生数千当たり乳児死亡数(人)	順 位
徳 島 県	6.6	1
	6.4	2
	6.0	3
	6.0	3
	5.9	5
秋 田 県	5.8	6
	5.6	7
	5.5	8
	5.4	9
	5.3	10
長 野 県	5.3	10
	5.2	12
	5.2	12
	5.2	12
	5.2	12
香 川 県	5.2	12
	5.2	12
	5.1	18
	5.0	19
	5.0	19
富 山 県	4.9	21
	4.9	21
	4.8	—
	4.8	23
	4.8	23
岩 手 県	4.7	25
	4.7	25
	4.7	25
	4.7	25
	4.7	25
佐 賀 県	4.7	25
	4.7	25
	4.6	32
	4.6	32
	4.6	32
熊 本 県	4.6	32
	4.5	36
	4.5	36
	4.4	38
	4.4	38
静 岡 県	4.3	40
	4.3	40
	4.2	42
	4.1	43
	4.1	43
新 潟 県	4.0	45
	3.9	46
	3.3	47

資 料：厚生省大臣官房統計情報部「人口動態統計」

調査時点：昭和63年

調査周期：毎年

算出方法：乳児死亡数÷出生総数

(注) 生後1年未満の死亡

92. 病院一般病床数

都道府県	人口10万人あたり 病床数	一般 病床 (床)	順位
北海道	1,995.9	1	1
	1,500.5	2	2
	1,436.1	3	3
	1,432.2	4	4
	1,389.2	5	5
福山	1,369.0	6	6
	1,353.1	7	7
	1,289.3	8	8
	1,262.8	9	9
	1,245.6	10	10
鹿児	1,239.0	11	11
	1,227.2	12	12
	1,224.7	13	13
	1,219.5	14	14
	1,216.2	15	15
京福	1,190.4	16	16
	1,162.5	17	17
	1,116.2	18	18
	1,093.6	19	19
	1,090.8	20	20
大和歌	1,089.2	21	21
	1,063.8	22	22
	1,048.4	23	23
	1,017.2	24	24
	1,001.2	25	25
広全島山冲	996.8	26	26
	987.5	27	27
	963.1	28	28
	946.2	29	29
	917.6	30	30
兵三東群愛	907.3	31	31
	890.8	32	32
	877.4	33	33
	852.4	34	34
	850.5	35	35
新宮長滋岐	836.1	36	36
	835.5	37	37
	833.1	38	38
	811.7	39	39
	797.2	40	40
茨栃山奈静	792.5	41	41
	789.1	42	42
	784.5	43	43
	756.0	44	44
	743.4	45	45
神埼	726.2	46	46
	695.2	47	47
	652.1	48	48

93. 献血率

都道府県	献血率(%)	順位
熊石徳山長	9.6	1
	9.1	2
	8.6	3
	8.5	4
大東北鹿福	8.3	6
	8.1	7
	7.9	8
	7.9	8
	7.7	10
鳥島宮香福	7.6	11
	7.6	11
	7.6	11
	7.2	14
	7.0	15
滋和高山富	7.0	15
	7.0	15
	7.0	15
	6.9	19
	6.8	20
宮全栃京広	6.7	21
	6.5	22
	6.5	22
	6.5	22
	6.5	22
冲愛青岡愛	6.5	22
	6.4	26
	6.3	27
	6.3	27
	6.3	27
三群奈長静	6.2	30
	6.1	31
	6.1	31
	6.0	33
	6.0	33
岩大佐兵秋	5.9	35
	5.9	35
	5.9	35
	5.8	38
	5.7	39
岐埼新福神	5.7	39
	5.6	41
	5.6	41
	5.4	43
	5.3	44
山千茨	4.9	45
	4.9	45
	4.4	47

資料：厚生省大臣官房統計情報部
「医療施設調査・病院報告」
調査時点：昭和63年10月1日
調査周期：毎年
算出方法：病院一般病床数÷総人口

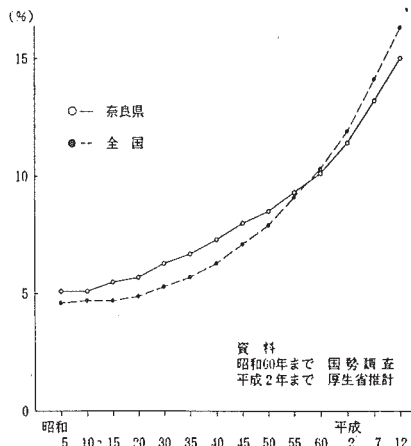
資料：厚生省薬務局
調査時点：昭和63年
調査周期：毎年
算出方法：献血者数÷総人口

〔高齢化社会〕

人生80年、まさに長寿社会が到来しようとしています（平均寿命男性75.5歳、女性81.3歳……厚生省63年簡易生命表）。しかし、このことは私達にとって健康問題をはじめ生活全般にわたりさまざまな問題に直面することでもあります。人口構造の高齢化の進行は、社会情勢の変化と相まって、a家庭介護機能の低下、bライフサイクルの変化、c社会負担の増大をもたらしており、それへの対応策が急務となってきました。

関 連 指 標

総人口に占める高齢人口（65歳以上）の比率の推移



94. 老人家庭奉仕員数

都道府県	老人人口1万人 当たり老人家庭 奉仕員数(人)	順位
東京都	43.8	1
神奈川県	24.5	2
岩手県	16.9	3
新潟県	14.6	4
鹿嶋市	14.4	5
青森県	13.6	6
北海道	13.6	6
北海道上川	13.3	8
全島	13.1	
国取	12.8	9
沖長	12.6	10
高知	12.0	11
秋田	11.2	12
愛媛	11.1	13
愛媛	10.7	14
熊宮	10.5	15
大阪	10.4	16
茨城	10.4	16
草	9.9	18
草	9.9	18
福徳	9.8	20
富山	9.8	20
宮香	9.7	22
香	9.3	23
香	9.2	24
長和	9.1	25
歌	9.0	26
福石	9.0	26
福石	9.0	26
福石	8.8	28
福石	8.8	28
静京	8.7	30
大山	8.7	30
滋	8.7	30
滋	8.4	33
滋	8.2	34
群愛	8.1	35
岡山	8.1	35
山梨	7.9	37
奈良	7.8	38
奈良	7.8	38
山千	7.7	40
三	7.6	41
佐	7.5	42
枳	7.5	42
枳	6.4	44
兵	6.4	44
福	6.4	44
崎	5.7	47
玉	5.7	47

資料：厚生省「社会福祉行政業務報告」

調査時点：昭和63年3月31日

調査周期：毎年

算出方法：老人家庭奉仕員÷65歳以上人口

95. 老人ホーム普及率

都道府県	老人人口千人 当たり老人ホーム 入所定員(人)	順位
北海道	道 30.7	1
	北 27.5	2
	沖 26.2	3
	鹿 26.1	4
	長 25.8	5
宮城県	宮 25.6	6
	徳 23.9	7
	大 23.9	7
	佐 23.1	9
	福 22.3	10
青森県	青 22.1	11
	熊 21.2	12
	福 21.1	13
	高 20.9	14
	秋 20.5	15
山梨県	山 20.4	16
	岩 20.3	17
	岡 19.8	18
	奈 19.2	19
	香 19.2	19
山梨県	山 19.0	21
	梨 18.2	22
	島 17.9	23
	嶺 17.1	24
	媛 17.0	25
三重県	全 16.6	26
	三 16.5	27
	長 16.4	27
	山 16.2	28
	石 16.1	29
東京都	東 13.9	30
	静 13.6	31
	京 12.8	32
	千 12.7	33
	大 12.7	33
神奈川県	神 12.6	35
	富 12.4	36
	群 12.3	37
	新 12.3	37
	福 12.2	39
茨城県	茨 12.2	39
	栃 11.9	41
	埼 11.9	41
	兵 11.7	43
	宮 11.5	44
岐阜県	岐 11.2	45
	滋 10.7	46
	愛 10.0	47

資料：厚生省「社会福祉施設調査報告」
 調査時点：昭和62年10月1日
 調査周期：毎年
 算出方法：老人ホームの入所定員÷65歳以上人口

96. 老人クラブ会員数

都道府県	60歳以上人口千人 当たり会員数(人)	順位
富山県	富 703.59	1
	山 640.11	2
	賀 601.98	3
	良 589.84	4
	阜 557.05	5
和歌山県	和 551.79	6
	歌 546.42	7
	山 545.13	8
	新 542.81	9
	山 541.73	10
愛知県	愛 515.40	11
	福 512.94	12
	長 503.48	13
	岡 501.47	14
	熊 500.48	15
石川県	石 491.52	16
	秋 484.68	17
	板 478.15	18
	岩 472.32	19
	山 470.49	20
静岡県	佐 467.40	21
	香 457.56	22
	福 457.50	23
	島 454.17	24
	広 454.16	25
茨城県	茨 453.72	26
	大 450.18	27
	青 448.99	28
	愛 447.75	29
	島 432.69	30
鹿嶋県	鹿 431.98	31
	全 427.74	32
	静 421.52	32
	福 413.32	33
	京 408.55	34
宮城県	宮 407.28	35
	沖 396.03	36
	千 392.50	37
	宮 390.47	38
	高 386.37	39
兵庫県	兵 386.17	40
	埴 384.86	41
	徳 376.89	42
	大 364.58	43
	山 360.52	44
神奈川県	神 322.16	45
	北 313.80	46
	東 243.21	47

資料：厚生省「社会福祉業務報告」
 調査時点：昭和63年3月末
 調査周期：毎年
 算出方法：老人クラブ会員数÷60歳以上人口